



平成23年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年3月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アスカネット
コード番号 2438 URL <http://www.asukanet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO

(氏名) 福田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO

(氏名) 功野 顕也

TEL 082-850-1200

四半期報告書提出予定日 平成23年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年4月期第3四半期の業績(平成22年5月1日～平成23年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第3四半期	3,365	△0.5	587	18.8	586	19.5	340	22.1
22年4月期第3四半期	3,383	0.4	494	20.2	490	19.5	278	18.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第3四半期	8,025.61	—
22年4月期第3四半期	6,520.58	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第3四半期	3,222	2,622	81.1	62,377.86
22年4月期	3,216	2,406	74.5	55,998.84

(参考) 自己資本 23年4月期第3四半期 2,611百万円 22年4月期 2,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	0.00	—	1,750.00	1,750.00
23年4月期	—	0.00	—		
23年4月期 (予想)				1,800.00	1,800.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年4月期の業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,750	4.5	672	8.1	677	7.8	371	4.8	8,759.29

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- | | | | | |
|---------------------|----------|---------|----------|---------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年4月期3Q | 43,660株 | 22年4月期 | 43,660株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年4月期3Q | 1,794株 | 22年4月期 | 878株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年4月期3Q | 42,450株 | 22年4月期3Q | 42,782株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因によって、予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付書類3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の好調な需要を背景に一部企業の業績に回復傾向が見られますものの、厳しい雇用環境の継続や個人消費の低迷などにより、依然として先行き不透明感が拭えない状況にあります。

当社を取り巻く環境も、当社が提案してまいりました1冊から作成する写真集は「フォトブック」サービスとして浸透が進んでおりますものの、個人消費の低迷により、業務向けの写真市場、葬儀葬祭市場、一般消費者市場いずれにおきましても、厳しい環境が継続しております。

このような状況の中、当社はフューネラル(葬儀葬祭)市場に対する遺影写真等画像映像のデジタル加工、通信出力を主体としたメモリアルデザインサービス事業と、デジタル写真とオンデマンド印刷の融合を目指し、一般消費者からプロフェッショナル写真家までをターゲットに個人向け写真集の作成、販売を主体としたパーソナルパブリッシングサービス事業を中心として、一つ一つカスタマイズされたモノ創りにこだわって展開してまいりました。

この結果、売上高は3,365,154千円(前年同四半期比99.5%)となり、利益面におきましては、メモリアルデザインサービス事業の粗利益が増加したこと、およびパーソナルパブリッシングサービス事業における販売手数料、広告宣伝費、旅費交通費等の減少により、経常利益は586,290千円(前年同四半期比119.5%)、四半期純利益340,687千円(前年同四半期比122.1%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(メモリアルデザインサービス事業)

メモリアルデザインサービス事業におきましては、引き続き、画像処理の高い技術力や充実した自社サポート体制を強調した顧客開拓を進め、新規顧客を開拓するとともに、カラー額などの販売に注力いたしました。システム機器の販売は予定を下回ったものの、遺影写真の加工が好調に推移した結果、売上高は1,449,982千円(前年同四半期比105.0%)、セグメント利益は498,136千円となりました。

(パーソナルパブリッシングサービス事業)

パーソナルパブリッシングサービス事業におきましては、業務市場では自社営業により新規顧客を開拓し、一般消費者市場ではインターネットを中心とした広告宣伝、販売促進の実施により知名度の向上を図ってまいりました。また、業務向け写真集作成専用ソフトウェア「アスカブックメーカー2」を国内、海外向けにリリースし、その普及のためのセミナーも開始いたしました。その結果、売上高は1,915,171千円(前年同期比95.7%)、セグメント利益は327,208千円となりました。

(注) 第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

これによる事業区分に与える影響はないため、前年同四半期比較を行っております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ5,741千円増加し、3,222,113千円となりました。これは主に、現金及び預金が49,784千円増加し、受取手形及び売掛金が42,153千円増加する一方、有形固定資産が105,021千円減少したことによるものであります。当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ210,028千円減少し、599,814千円となりました。これは主に、未払法人税等が60,700千円、賞与引当金が49,100千円、長期借入金が51,750千円それぞれ減少したことによるものであります。当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度に比べ215,769千円増加し、2,622,298千円となりました。これは主に、剰余金の配当として74,868千円計上し、自己株式を47,905千円購入した一方で、四半期純利益を340,687千円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ49,784千円増加し、963,130千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、335,072千円(前年同四半期は412,044千円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益を582,542千円、減価償却費を201,137千円計上し、法人税等を303,504千円支払ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、103,155千円(前年同四半期は220,372千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得47,255千円、無形固定資産の取得53,914千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、182,118千円(前年同四半期は134,102千円の使用)となりました。これは、配当金の支払74,819千円、自己株式の取得48,052千円、長期借入金の返済59,247千円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年6月10日に発表いたしました平成23年4月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

② 特有の会計処理

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

② 表示方法の変更

(四半期貸借対照表関係)

前第3四半期会計期間において、独立掲記しておりました「機械及び装置」(当第3四半期会計期間末158,826千円)は、資産総額の100分の10以下となったため、当第3四半期会計期間においては、有形固定資産「その他」に含めて、表示しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	963,130	913,346
受取手形及び売掛金	557,497	515,344
商品及び製品	75,477	60,083
仕掛品	12,490	9,729
原材料	50,424	51,478
その他	88,729	84,512
貸倒引当金	△8,322	△7,229
流動資産合計	1,739,427	1,627,264
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	489,963	509,354
土地	370,758	370,758
その他（純額）	234,375	320,005
有形固定資産合計	1,095,097	1,200,119
無形固定資産	215,729	216,111
投資その他の資産	171,858	172,876
固定資産合計	1,482,685	1,589,107
資産合計	3,222,113	3,216,372
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,545	93,497
未払法人税等	108,200	168,900
賞与引当金	55,900	105,000
その他	243,368	283,588
流動負債合計	492,013	650,985
固定負債		
長期借入金	94,973	146,723
退職給付引当金	12,828	12,134
固定負債合計	107,801	158,857
負債合計	599,814	809,842

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	1,638,486	1,372,667
自己株式	△122,549	△74,644
株主資本合計	2,612,822	2,394,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,310	833
評価・換算差額等合計	△1,310	833
新株予約権	10,787	10,787
純資産合計	2,622,298	2,406,529
負債純資産合計	3,222,113	3,216,372

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)
売上高	3,383,068	3,365,154
売上原価	1,639,160	1,618,033
売上総利益	1,743,907	1,747,121
販売費及び一般管理費	1,249,318	1,159,660
営業利益	494,589	587,461
営業外収益		
受取利息	217	271
受取配当金	625	557
受取手数料	741	742
助成金収入	—	7,114
その他	999	671
営業外収益合計	2,583	9,357
営業外費用		
支払利息	3,294	2,360
為替差損	3,317	7,767
その他	10	400
営業外費用合計	6,622	10,528
経常利益	490,550	586,290
特別損失		
固定資産除却損	7,086	3,747
特別損失合計	7,086	3,747
税引前四半期純利益	483,463	582,542
法人税等	204,500	241,854
四半期純利益	278,963	340,687

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	483,463	582,542
減価償却費	241,670	201,137
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,944	1,091
賞与引当金の増減額(△は減少)	△46,400	△49,100
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,953	694
受取利息及び受取配当金	△842	△829
支払利息	3,294	2,360
為替差損益(△は益)	14	13
固定資産除却損	7,086	3,747
売上債権の増減額(△は増加)	△54,351	△42,153
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,607	△17,101
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,789	△8,951
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,489	△10,477
その他	△9,577	△22,867
小計	611,443	640,106
利息及び配当金の受取額	840	799
利息の支払額	△3,172	△2,329
法人税等の支払額	△197,067	△303,504
営業活動によるキャッシュ・フロー	412,044	335,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△159,782	△47,255
無形固定資産の取得による支出	△55,041	△53,914
貸付けによる支出	△3,450	—
貸付金の回収による収入	1,490	240
その他	△3,588	△2,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,372	△103,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△59,247	△59,247
配当金の支払額	△74,855	△74,819
自己株式の取得による支出	—	△48,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,102	△182,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	57,554	49,784
現金及び現金同等物の期首残高	505,521	913,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	563,076	963,130

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「メモリアルデザインサービス事業」と「パーソナルパブリッシングサービス事業」の二つの事業を柱とし、それぞれの事業ごとに取り扱う製品・サービスについて事業計画を立案し、展開しているため、当社は「メモリアルデザインサービス事業」と「パーソナルパブリッシングサービス事業」の二つを報告セグメントとしております。

「メモリアルデザインサービス事業」は、葬儀葬祭市場に対する遺影写真等画像映像のデジタル加工、通信出力を主体としており、「パーソナルパブリッシングサービス事業」は、デジタル写真とオンデマンド印刷の融合を目指し、一般消費者からプロフェッショナル写真家までをターゲットに個人向け写真集の作成、販売を主体としております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,449,982	1,915,171	3,365,154	—	3,365,154
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,449,982	1,915,171	3,365,154	—	3,365,154
セグメント利益	498,136	327,208	825,345	△237,884	587,461

(注) 1 セグメント利益の調整額△237,884千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。